

自動取得システムを検証

アスファルト舗装の品質と安全性の向上を目的に、アスファルト混合の温度情報とアスファルト舗装工事の温度管理システム「T・CIM/Asphalt」+「TransSeeker」とを連携させたシステム。

大成ロテック

大成ロテックは、アスファルト舗装の品質と安全性の向上を目的に、アスファルト混合の温度情報とアスファルト舗装工事の温度管理システム「T・CIM/Asphalt」+「TransSeeker」とを連携させたシステムで取得し管理できるシステム

共同開発で、大成建設のT・CIMシリーズのひとつで、同社が開発したアスファルト舗装工事の温度管理システム「T・CIM/Asphalt」と日建リース工業の提供する運搬車両の位置情報システム「TransSeeker」とを連携させたシステム。

走行ルートなどの運行状況がリアルタイムに把握できることから、現場到着時刻やプラント帰着時刻の予測が可能となる。アスファルト混合物の温度を、プラント出荷から現場到着まで常時確認することで、運搬中の温度低下を把握でき、迅速な出荷温度の調整などが可能となることから、温度低下によるアスファルト混合物の品質低下を防止、アスファルト舗装工

ることが確認された。特に、冬季施工の運搬中の温度低下が懸念される工事での品質確保への活用が期待でき、施工中の安全管理においても、同システムを活用することにより、大型タンク荷台への温度測定のための昇降を無くすことにより安全性の向上も期待できるとしている。

「T・CIM/Asphalt」+「TransSeeker」の効果を、自社の施工現場で検証した。

同システムは、大成建設、日建リース工業との

グループ独自のクラウドに発信され、Web上で閲覧が可能であり、パソコンやタブレットなどの端末により誰でも情報を共有することができる。同システムにより車両の位置情報や

到着温度の温度確認状況

到着温度の温度確認状況

到着温度の温度確認状況

到着温度の温度確認状況



到着温度の温度確認状況

到着温度の温度確認状況

到着温度の温度確認状況

到着温度の温度確認状況